

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	51	-	事業名	児童館利用促進事業	担当部課	福祉部 子育て支援課
------	----	---	-----	-----------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	9	安心して子育てができる環境をつくる			
		施策の進め方		児童健全育成事業の充実			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、異年齢児、地域との交流の場とすることを目的とする。 (概要) 青少年児童センター、上郷児童館、下山児童館、長久手西児童館及び長久手南児童館を運営する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童の発達を増進し、地域住民と連携した活動を進め、活性化を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 児童館活動事業	継続	④			
	② 児童館まつり実施事業	拡充	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	56,288
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	3,666
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	59,954

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 入館者数		人	目標			69,500	69,000
				実績			70,069	86,739
	B 児童館まつり参加者数		人	目標			1,500	1,500
				実績			1,499	1,578
C								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 児童館は児童の発達を増進し、地域住民と連携した活動を進める場として児童の健全育成に有益であるため、入館者数とする								
B より多くの方に来場してもらうため、前年度実績からの増加を目標とする。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、日進市(複合施設)、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 近隣大学との学校連携(地域資源の活用)を進めたり、こどもスタッフの活動事例を紹介する(地域活動に頑張る子どものやりがい作り)ことにより、地域住民の企画運営への参加促進に努める。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今度も、放課後の児童の居場所に対するニーズは高まると考えられるため、今後も地域に身近な事業を実施することで、児童館を地域における子育て支援の拠点とするとともに子どもの健全育成の場とする。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 児童館まつりについては、新たに市が洞児童館も開催会場とし、4箇所での開催とする。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	児童館利用促進事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	児童館活動事業									
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 乳幼児及びその保護者、児童を対象に、児童厚生員が料理教室、人形劇公演、お楽しみ遠足等を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童館が地域の子育ての拠点となり、発達の増進を図るとともに、豊かな人間性の発達を促す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				471
		決算				226

3. 活動推移

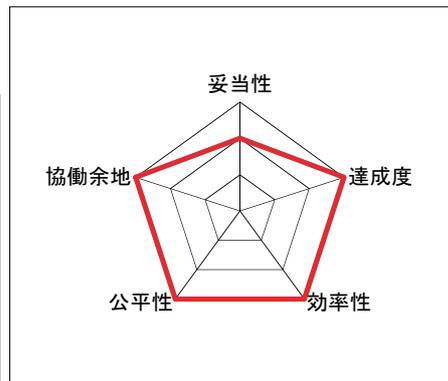
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入館者数	人	目標	70,000	68,000	69,500	69,000	
		実績	66,635	69,374	70,069	86,739	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今後も、放課後の児童の居場所に対するニーズは高まると考えられる

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続
----

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
学校や保育園等、子育て関連施設への情報提供を拡充し、地域住民の事業参加の促進に努める。 今後、「(仮称)児童館おたすけたい」を組織化し、地域の住民、特に高齢者に、児童館活動の補助、遊びの伝承役、環境整備等、これまで培われた経験や技術を活かして様々な活動のお手伝いをしていただく中で、地域の子ども、子育て中の保護者たちと世代間交流を図る。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	児童館利用促進事業							
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	児童館まつり実施事業						
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童に対し、こどもスタッフ会議を実施し、児童館まつりを実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子どものボランティアの育成・援助を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				650
		決算				526

3. 活動推移

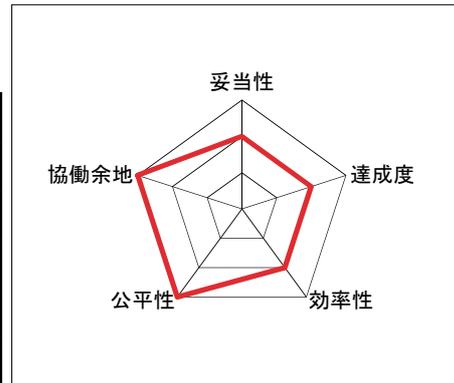
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
児童館まつり参加者数	人	目標	1,504	1,500	1,500	1,500	
		実績	1,577	1,493	1,499	1,578	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今後も、子どもスタッフを始め、地域住民の企画運営への参加促進に努める。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

拡充
----

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
近隣大学との学校連携（地域資源の活用）を進めたり、こどもスタッフの活動事例を紹介する（地域活動に頑張る子どものやりがい作り）ことにより、地域住民の企画運営への参加促進に努める。 また、新たに市が洞児童館も開催会場とし、4箇所での開催とする。